

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	野尻小校区	担当班	議員名	担当
参加人数	31人		◎坂下 春則	司会進行
開催日	平成27年7月30日(木)		森田 哲朗	活動報告(総務文教)
開催時間	午後7時～午後8時30分		杉元 豊人	(経済産業)
会場	野尻庁舎2階大会議室		吉藤 洋子	(市民厚生)
その他	1班		鎌田 豊数	(広報広聴)
			森田 哲朗	記録・報告書作成

◎班代表者

意見交換会の内容		※□市民の意見	■議員の意見
統一テーマ	「活力ある地域づくりのために ～雇用・結婚・子育て・定住～」		
【意見交換の概要】			
□本市は有効求人倍率が高いのに就業していない人が多いのはどういうことか。 ■本市の有効求人倍率は1.2～1.3で9市の中でトップクラス。倍率を押し上げているのは医療・福祉系の求人が多いからである。事務職や工場勤務などを希望する人とのミスマッチが原因である。			
□雇用創出に努力し、雇用を確保してもらいたい。そうすれば結婚・子育ての問題も解決する。 ■雇用確保が本市の第一の課題である。そのために3.9ヘクタールの工業団地を南西方字杉玉に造成している。			
□工業団地造成は慎重に進めてほしい。 ■塩漬け団地にならないように一般質問等で質していく。平成25年後半から景気回復の前兆として、工場立地の問い合わせがたくさん来たようである。その状況を受けて26年度に県の補助金で工業団地の適地選定調査を行い、造成地が決定した。			
□保育園に通園していた娘は小児糖尿病。園側が対応できないという事で、現在は病院の託児所で預かってもらっている。保育園に看護師を確保して預かってもらえるようにできないか。小学校ではどう対応できるのか。 ■保育園で看護師の募集をしているが応募がない状況である。小林中央保育所には看護師がいる。他の保育園でも看護師が確保できるように委員会審査等で働きかけている。 教育委員会では、障がいなどの理由により教育上特別の支援を必要とするお子			

さんが小学校に入学される場合は、入学予定の前年度に市が開催する就学相談会に参加いただき、お子さんの実情を正確に把握した上で、保護者の意向や市就学指導委員会等の意見を踏まえ、就学先や必要な支援について総合的に検討している。

□市全体の人口推移ではなく、野尻町区の人口はどう推移するのか説明すべきである。

【調査結果】野尻町区・須木区ごとの人口推移を算出するのは、非常に難しいということである。

□健康保険料の1人当たり調定額 82,399 円、軽減世帯の対象者が 191 名増加とは何か。

■今年度の税率改定で決定された国民健康保険料（医療分と後期高齢者支援分の合計）の1人当たり平均額のことである。ちなみに1世帯当たり調定額は 141,800 円です。191 名増員は同じく税率改定で保険料が軽減（応益分の 5 割・2 割軽減）になった対象者の増加人数である。

□結婚適齢期で未婚の男女はどのくらいいるのか。そして若い女性が小林に残りたいという施策の展開に努力してほしい。

■調査は個人情報にも関係するので行われていない。

意見交換会の内容

※□市民の意見 ■議員の意見

テーマ② 空き家問題について

【意見交換の概要】

□空き家が社会問題になっている。空き家への入居者募集をどんどんやってほしい。問題はどのような迷惑を掛けている空き家をどうするか、固定資産税を徴収できているのかなど。特定空家特措法が施行されたが市はどう取り組むのか。問題ある空き家を市独自で撤去できるように、条例制定による対策をとっていただきたい。

■市は空き家の実態調査を実施する。特定空家等についての条例制定が必要と思われるので、今後も一般質問や委員会審査を通して質していく。

テーマ③ 合併の効果について

【意見交換の概要】

□合併して良いことがない。運動会、グランドゴルフ、駅伝大会が全て小林の中央部で実施され、野尻からは代表者だけの参加である。野尻で開催できるように配慮してほしい。

■全市民が集うためには会場の広さ、駐車場の確保、交通規制など課題がある。今後の検討課題として議論していく。

□野尻町時代の町民運動会は、来賓席を設けず来賓も町民も一体となり参加した。現在のこばやし市民大運動会では来賓席を設けている。一体感を醸成するためにも来賓席の在り方を再考してみてはどうか。

■貴重な意見。参考としたい。

自由意見の交換

※□市民の意見 ■議員の意見

□現在全市で 59 区ある。野尻は 6 区に減らしたが須木は 10 区ある。須木も区を減らし、議員をもっと減らし報酬も考慮すべきである。また市職員の給与はラスパイレ指数 90%に減らすべきである。議員は行財政改革に努力すべきである。

■区の統合や議員の定数・報酬については今後議論すべき課題である。

□本市には退職金積立基金が無い。平成 26 年度は一般会計から約 2 億 5 千万円 (13 名) 支払っている。議員は把握しているのか。18 年度と 19 年度は国から退職手当債を借り、その返済も毎年、支払う事になる。少子高齢化で税収は減り、地方交付税は毎年削減されていく中、実質経常収支比率は 26 年度ですでに 90.9 に上がっている。90 以下にすべきである。市職員の給与は市の財政や物価を基準に改定すべきで、現在のラスパイレ指数 97.4%を 95 以下にすべきである。共働きの市職員が 100 名余りいる。これも問題である。通勤距離 2 k m以上の通勤手当も見直すべきである。時間外手当も膨らまないようにしっかりチェックしてほしい。また選挙管理委員会など各種非常勤特別職の報酬が月額制度になっているところは、日額制にするなど報酬制度を見直すべきである。75 歳定年制度、任期制限制度等への条例改定など、議員は行財政改革に努力してほしい。

■重要な課題だと考える。議員間で議論していく。

□大阪から野尻に移住した者である。市民は閉塞感の中でものを考えるのではなく、大きな夢をもっていたきたい。霧島サービスエリアには小林の物産が何もなかった。こんなことがないように足元から見直すべきである。地域が元気になるように力を入れていただきたい。

■貴重な意見。参考としたい。

□放課後児童クラブの子ども達にいい環境で水遊びをさせたい。そのために水質検査をしようと思ったがどこに相談していいのかわからなかった。どの課がどのような仕事をするのか、分かりやすい説明書を先進地にならって本市も発行してほしい。

■一般質問や委員会審査を通して質していく。

☐ふるさと納税で小林の人は他の自治体にどのくらい寄付しているのか。

【調査結果】平成 26 年 1 ～12 月で 37 名。市民税が 1,000,542 円減収であった。

☐出の山のホタルを駅周辺にも生息させ、ホタルが乱舞する光景を全国に P R したらどうか。

■いいアイデアである。駅周辺にホタルが生息できる環境を整備できるかなど課題がある。一般質問等で質していく。

☐ジャンボタニシの駆除で非常に困っている。薬を撒いて駆除してほしい。

【調査結果】市としては、助成を実施していないということである。

議会活動報告への意見

※☐市民の意見 ■議員の意見

※特にありません。